



玄人か素人か  
その差は技術ではなく「認知」にある



# 同じ行動が、同じ結果を生まない理由。

世の中には二種類の人間がいます。

プロ（玄人）か、アマチュア（素人）か。

この違いは、単純にスキルや経験、時間の使い方ではありません。

もっと本質的な部分、「意識」と「認知」の差にあります。



# アマチュアとプロを分かつ境界線

## 【素人】

## 【玄人】

焦点

行動だけを見る

行動の「意味」を見る

評価基準

肩書きや外部の評価

内側にある自己認識の深さ

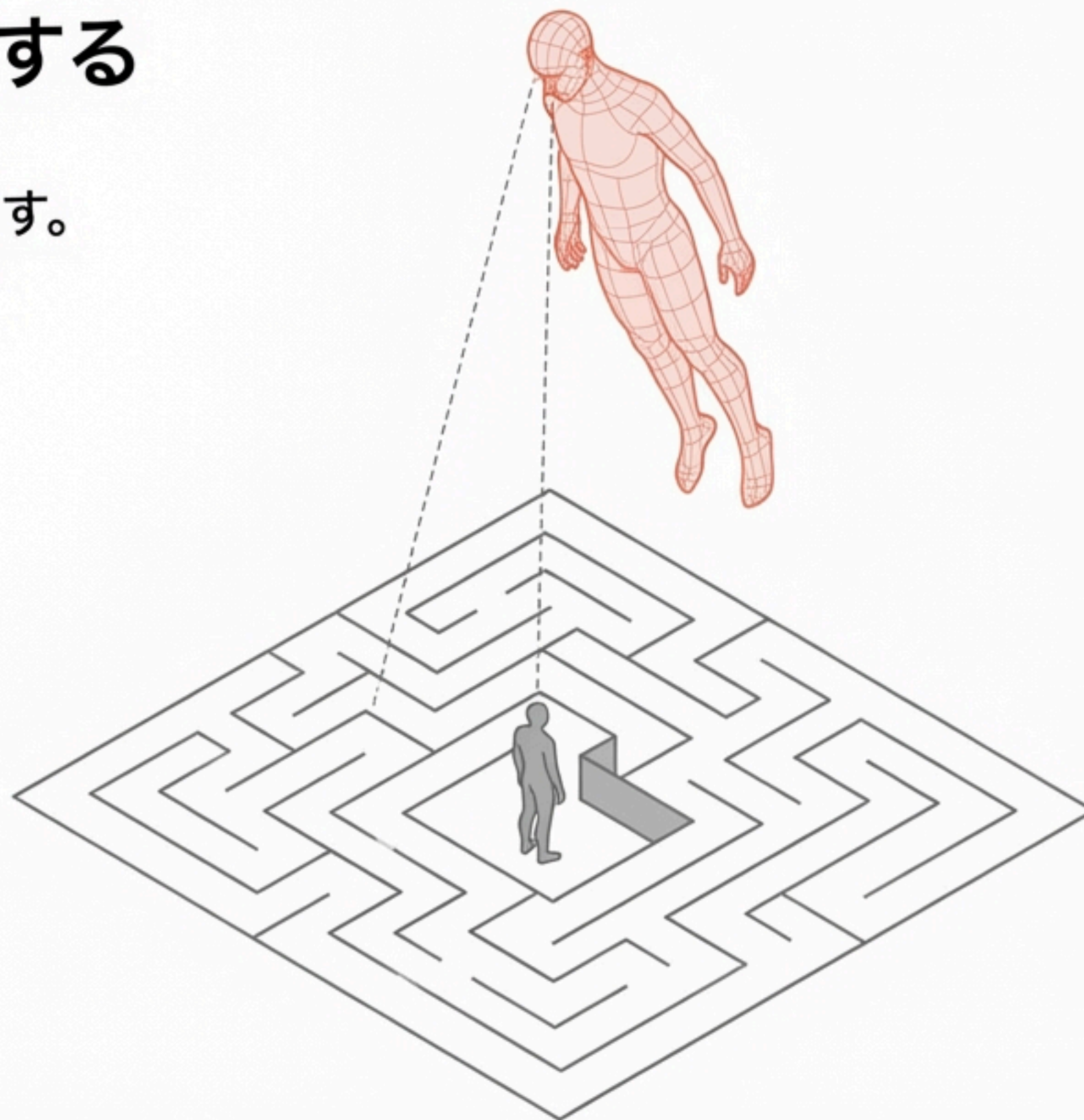
状態

素人の意識で働く

「メタ認知」を持っている

# メタ認知：自分を一段上から俯瞰する

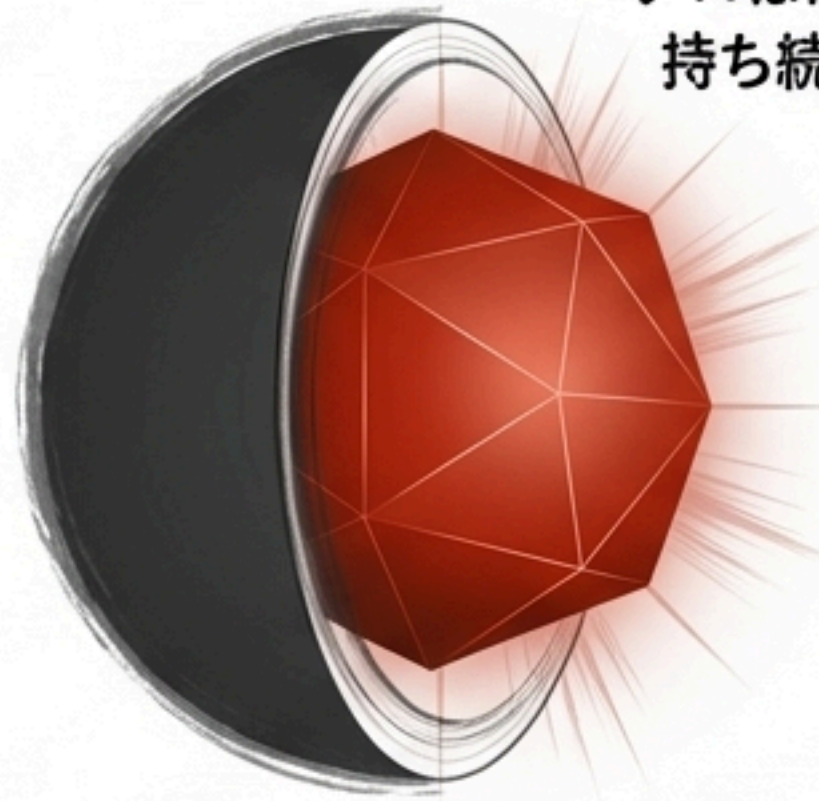
TAOISMでは、プロの条件を「メタ認知」で捉えます。  
ただ感じて動くのではなく、「感じている自分」を  
客観的に認識できる状態。  
この視点の有無が、決定的な差を生み出します。



素人は行動を見つめ、プロは**意味**を見抜く。



行動



意味

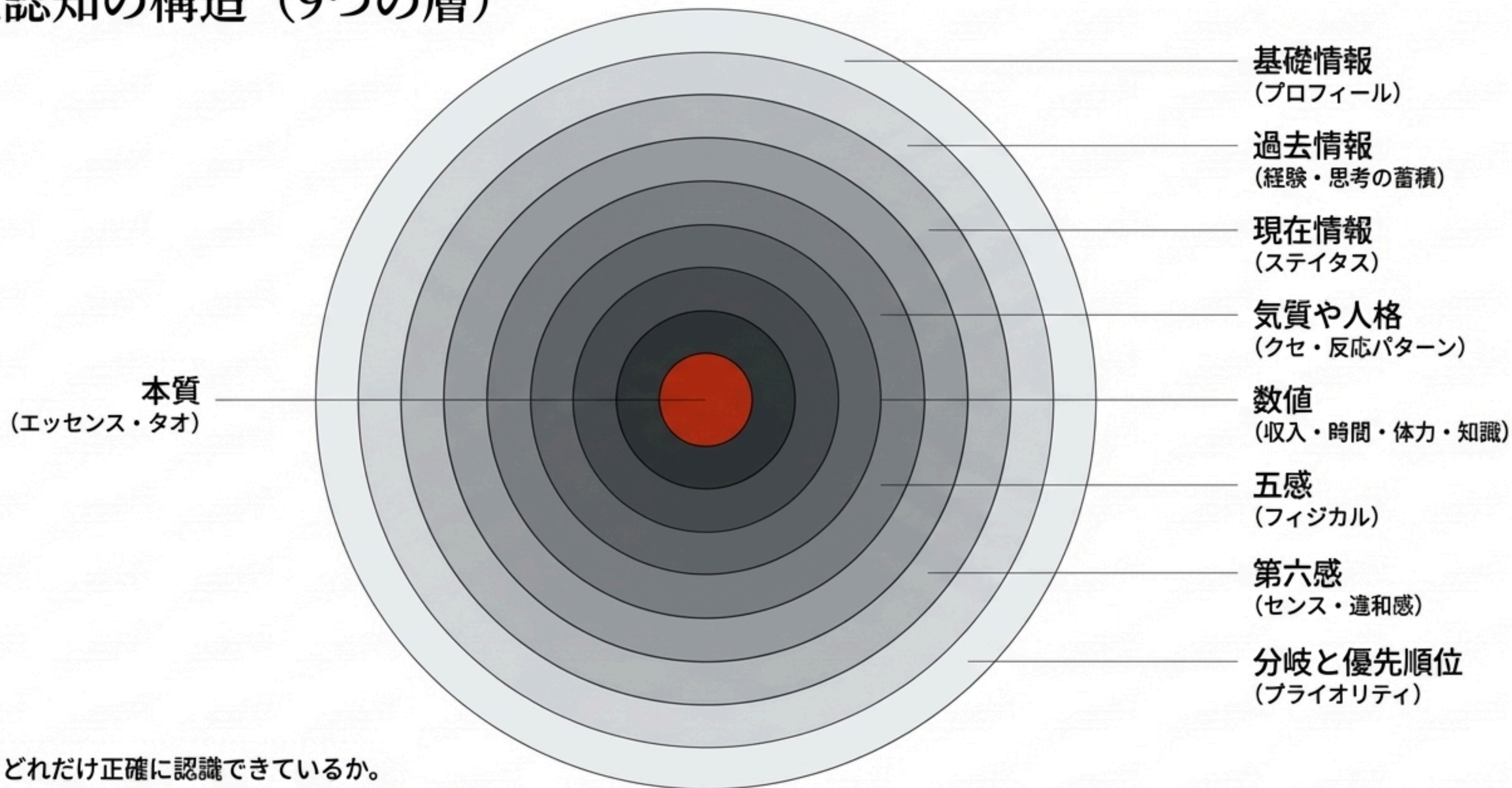
プロは常にこの**問い**を  
持ち続けています。

1. なぜこの行動を  
したのか？

2. なぜこの結果に  
なったのか？

3. 自分はどのパターンで  
動いたのか？

# 自己認知の構造 (9つの層)



これらをどれだけ正確に認識できているか。  
TAOISMでは、これを「自分を知る」と表現します。

# 自分を知るための「実践の基本」



1. **理由**..  
自分の行動に理由を持つ



2. **因果**..  
結果に対して因果を考える



3. **記録**..  
感情の動きを記録する



4. **直感**..  
違和感を無視しない



5. **順位**..  
優先順位を明確にする

# ズレを修正し続けるサイクル



重要なのは、繰り返すこと。  
「十織・五省・瞑想」を通じて自分を客観視し続け、  
過去の自分と向き合い、軌道を修正する。  
これが認知を整える行為です。

# 内側への問いかけ

自分は行動だけで満足していないだろうか。  
肩書きで安心していないだろうか。  
評価で自分を定義していないだろうか。

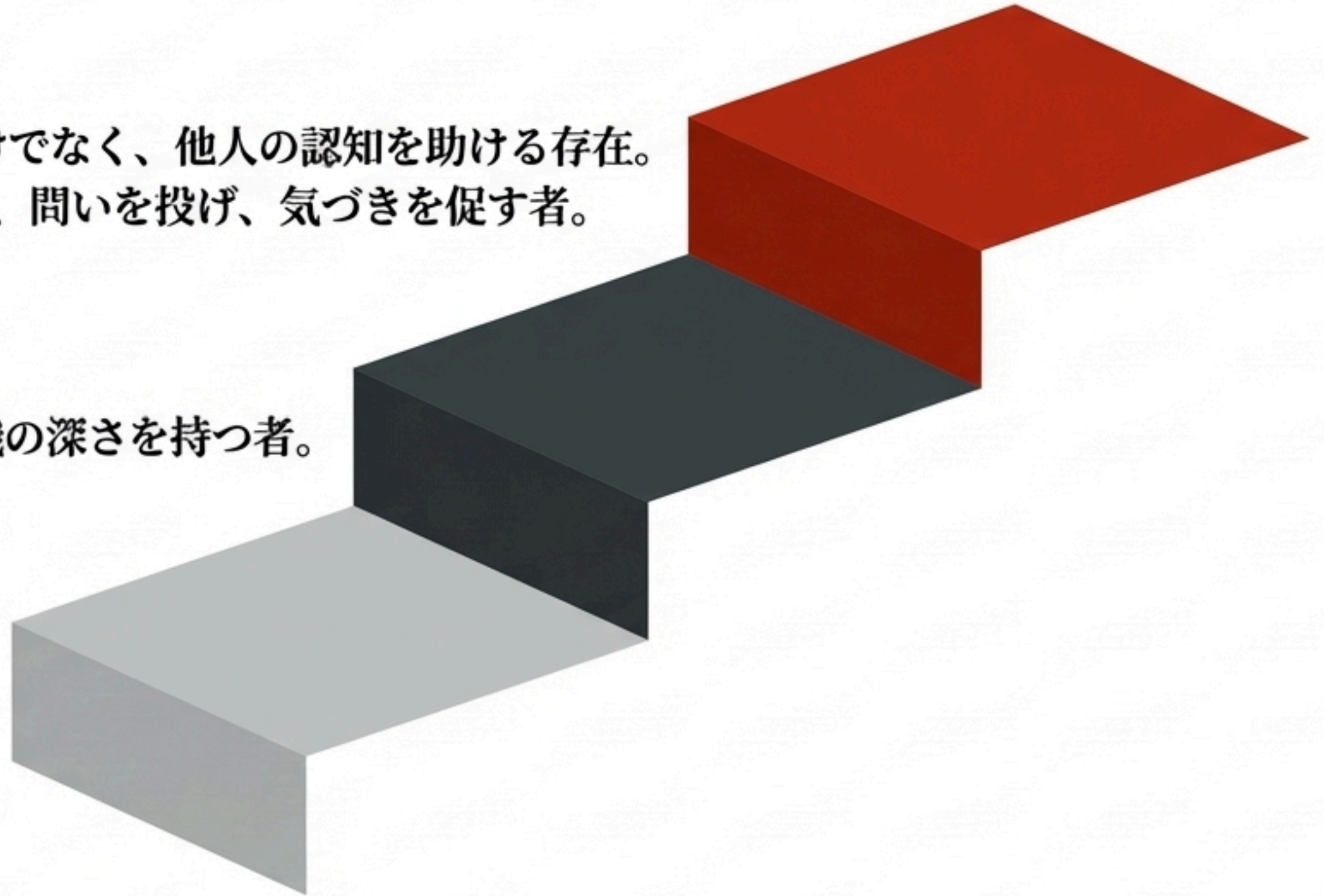
プロとは外側ではない。内側で決まる。  
自分は何者なのか。何のプロなのか。  
どの道を歩いているのか。

# 進化の階層：プロを超えた存在へ

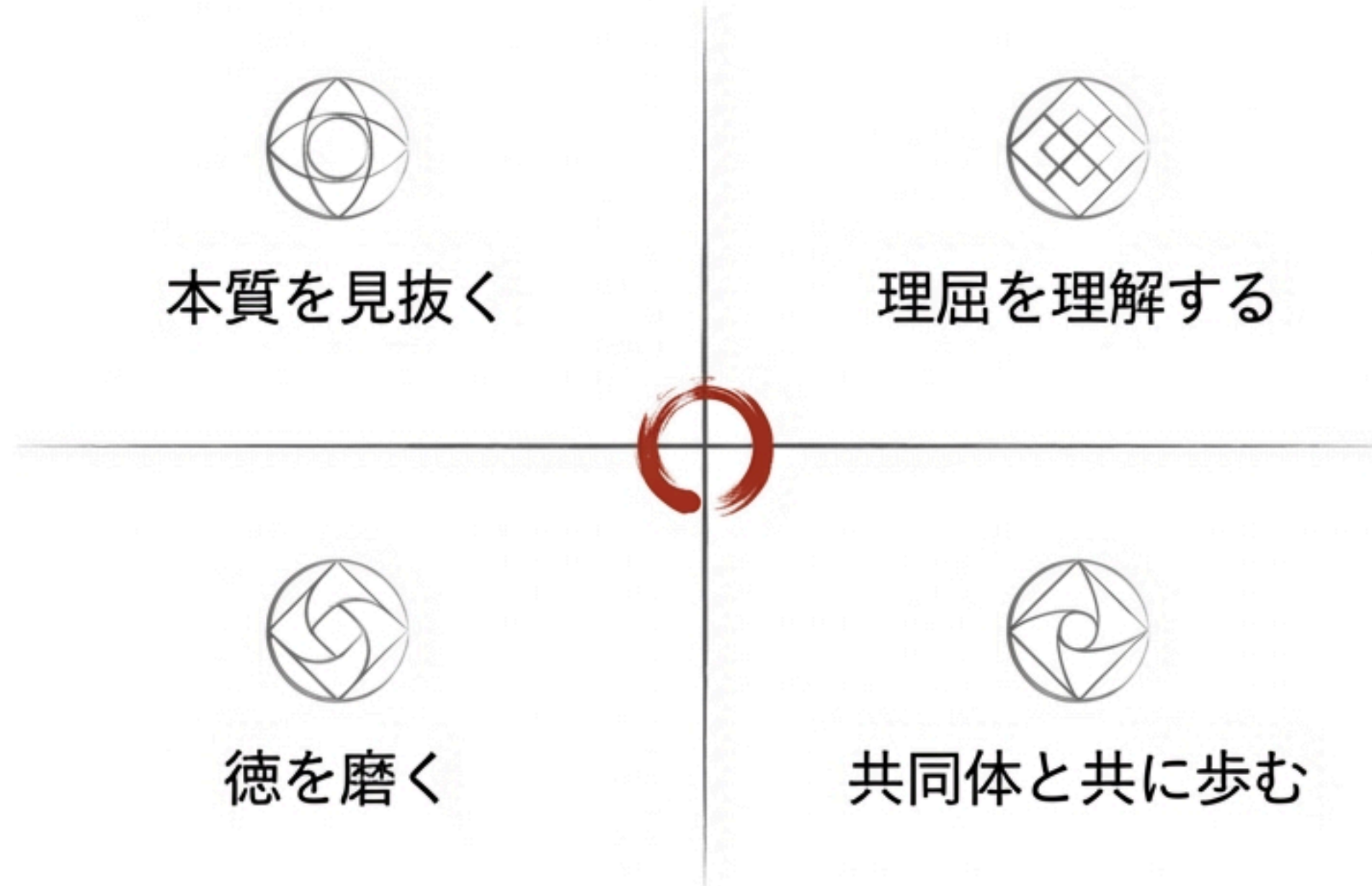
3. 求道者: 自分を理解するだけでなく、他人の認知を助ける存在。  
他者の状態を見抜き、問いを投げ、気づきを促す者。

2. 玄人: 在り方と自己認識の深さを持つ者。

1. 素人: 行動と外部評価に囚われる者。



# TAOISM : 整える思想



自分を知らずして、他を語ることはできない。  
自分を整えずして、他を導くことはできない。

あなたは何のプロか。  
そして、本当のプロか。

この問いに向き合い続けること。それが道であり、始まりである。

